

地域のウェルビーイング推進

アナ： 「市長が語る 2024 三島」第13回の今日は、「地域のウェルビーイング推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 「ウェルビーイング」という言葉を最近よく耳にするようになりましたが、地域のウェルビーイングとはいったいどのようなものなのでしょうか。

市長： まず、「ウェルビーイング」とは何かということですが、「身体的、精神的、社会的に良好で満たされた状態」のことをいいます。

わかりやすく、一言で言いますと、「幸せ」ということになるかと思えます。

三島市では、この「ウェルビーイング」という考え方をまちづくりに取り入れ、一人ひとりが自分自身の「幸せ」を高め、満ち足りた状態となることで、その幸せが周りの人に伝わって、広がり、その先に地域全体が幸せになるという考え方のもと、事業を推進しております。

昨年12月には、地域一体となって、ウェルビーイングの向上に取り組むべく、三島市と三島市自治会連合会、三島商工会議所が共同で『めざせ！ウェルビーイング宣言』を行いました。

アナ： 市だけでなく、住民の代表である団体や商工会議所と共同で宣言をされたのですね。この宣言は、どういった内容なのでしょうか。

市長： 三島市の花である「三島ざくら」をモチーフに「幸せの三島ざくら」と称して、5枚の花びらに目標を当てはめた宣言となっています。

4枚の花びらには、「挑戦しよう」、「感謝の気持ち」、「なんとかなる」、「ありのままに」を、5枚目の花びらには、「withみしま」を当てはめました。「withみしま」には、「地域に関わり、自分が三島にできることを考え、行動することで、さらに自分の幸せを高めることができる」という期待を込めています。

地域、企業、団体の皆様にご賛同いただき、多くの方がこの5枚の花びらを意識し、さらに大きくしていくことで、自分だけでなく地域の幸せが高まり、ウェルビーイングな地域になることを期待しています。

アナ： なるほど。一人ひとりがこの宣言に賛同し、「幸せの三島ざくら」を大きくしていくことで地域の幸せも高まるのですね。具体的な行動目標はあるのでしょうか。

市長： はい。具体的な行動目標は、「自らが楽しみながら、少しでも地域に貢献できることを実施していただく」ことです。

市では、宣言に賛同し、実践する個人、企業、団体の皆様に認定ステッカーを配布する『三島ウェルビーイングアクション認定制度』を

始めました。

アナ： 楽しみながら行う活動がウェルビーイングアクションに認定されて、ステッカーがもらえるんですね。こういった活動が認定されるのですか。

市長： **例えば、「近所の見守りをする」「地区のお祭りを開催する」「清掃活動に励む」といったように、自分たちの住む地域を良くするために、自主的に活動されているシビックプライドの高い方々がたくさんいらっしゃいます。**

そういった活動はまさに、地域のウェルビーイングを高めるものと言えます。

ほかにも「散歩をしながらすれ違う人に挨拶をする」、「おじいちゃんおばあちゃんを連れて楽寿園に行く」といったことなども、地域のウェルビーイングを高める活動ですので、認定されます。

アナ： 他の人の目に留まる活動でなく、身近で個人的な活動も認定されるんですね。自身の活動がこうやって認めてもらえると嬉しいものですよ。

市長： **そうですね。また夏には、恒例の三嶋大祭りが開催されますが、この祭りに関わる皆様も地域のウェルビーイング向上に大きく貢献していると言えます。**

と言いますのも、三嶋大祭りに参加される皆様が、それぞれの団体や地域で練習等を重ねることで、まずは人と人とのきずなが育まれます。

そして、それを実際に三嶋大祭りの場で披露することで、仲間との一体感や達成感、充実感を得ることができます。

さらに、祭りを見ている人達にもそれが伝わり、祭りに関わる全ての人が、「三島っていいまちだな、来てよかった、住んでよかった」と思ってもらえることにつながっていくと考えております。

アナ： なるほど。三嶋大祭りが地域のウェルビーイングを高めることに大きく貢献していることがよくわかりました。

これまで気がつかなかったけれども、地域のウェルビーイングを高める活動をしていたということもありますので、ぜひ多くの方に「三島ウェルビーイングアクション認定制度」に知ってもらい、ご参加いただきたいですね。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： **ありがとうございました。**